

令和5年度 岡山学芸館高等学校 選抜1期入試【1月26日】 解答解説(数学)

1

- 【正解】 ① -13 ② -28 ③  $3x+8y$  ④  $-4a^2$  ⑤  $3\sqrt{3}+\sqrt{5}$  ⑥  $(x=)\frac{-5\pm\sqrt{17}}{2}$   
 ⑦  $\frac{1}{2}$  ⑧  $77^\circ$  ⑨ イ ⑩ 21.5(m)

【解説】

- ⑥ 解の公式から、 $x=\frac{-5\pm\sqrt{5^2-4\times 1\times 2}}{2\times 1}=\frac{-5\pm\sqrt{17}}{2}$   
 ⑦ 箱Aに入っている玉を、赤<sub>1</sub>、赤<sub>2</sub>、赤<sub>3</sub>、白<sub>1</sub>、箱Bに入っている玉を、赤<sub>4</sub>、赤<sub>5</sub>、白<sub>2</sub>、白<sub>3</sub>と表す。玉の取り出し方は、  
 (A, B)=(赤<sub>1</sub>, 赤<sub>4</sub>), (赤<sub>1</sub>, 赤<sub>5</sub>), (赤<sub>1</sub>, 白<sub>2</sub>), (赤<sub>1</sub>, 白<sub>3</sub>), (赤<sub>2</sub>, 赤<sub>4</sub>), (赤<sub>2</sub>, 赤<sub>5</sub>), (赤<sub>2</sub>, 白<sub>2</sub>), (赤<sub>2</sub>, 白<sub>3</sub>), (赤<sub>3</sub>, 赤<sub>4</sub>),  
 (赤<sub>3</sub>, 赤<sub>5</sub>), (赤<sub>3</sub>, 白<sub>2</sub>), (赤<sub>3</sub>, 白<sub>3</sub>), (白<sub>1</sub>, 赤<sub>4</sub>), (白<sub>1</sub>, 赤<sub>5</sub>), (白<sub>1</sub>, 白<sub>2</sub>), (白<sub>1</sub>, 白<sub>3</sub>)の16通りあり、そのうち同じ色の玉を  
 取り出す場合は下線部の8通りある。よって、求める確率は、 $\frac{8}{16}=\frac{1}{2}$ である。  
 ⑧  $\angle DAE=\angle AEB=\angle BAE=(180^\circ-56^\circ)\div 2=62^\circ$   $\triangle AED$ の内角の和から、 $\angle x=180^\circ-(62^\circ+41^\circ)=180^\circ-103^\circ=77^\circ$   
 ⑩ 中央値は、データを大きさの順に並べたとき、5番目の値と6番目の値の平均値であるから、 $\frac{21+22}{2}=21.5$ (m)

2

- 【正解】 ①(1)  $x+y+90$  (2)  $\frac{3}{10}x$  (3)  $\frac{6}{25}y$  (4) 27 ② 1年生…110(人), 2年生…125(人)  
 ③ 学校行事…遠足, 人数…103(人)

【解説】

- ②  $x+y+90=325\cdots\textcircled{ア}$ ,  $\frac{3}{10}x+\frac{6}{25}y+27=90\cdots\textcircled{イ}$   $\textcircled{ア}$ より、 $x+y=235\cdots\textcircled{ウ}$   $\textcircled{イ}$ より、 $5x+4y=1050\cdots\textcircled{エ}$   
 $\textcircled{ウ}$   $\times 4$ より、 $x=110$   $\textcircled{ウ}$ に代入して、 $110+y=235$   $y=125$  よって、1年生110人, 2年生125人  
 ③ 文化祭と回答した人数は、 $110\times\frac{40}{100}+125\times\frac{28}{100}+90\times\frac{20}{100}=44+35+18=97$ (人)  
 遠足と回答した人数は、 $110\times\frac{20}{100}+125\times\frac{36}{100}+90\times\frac{40}{100}=22+45+36=103$ (人)

3

- 【正解】 ①  $48(\text{cm}^3)$  ②  $\frac{32}{3}(\text{cm}^2)$  ③  $\frac{1}{54}$ (倍)

【解説】

- ①  $AB=EF=8\text{cm}$ ,  $AD=FG=4\text{cm}$ ,  $AE=9\text{cm}$  だから、三角錐A-EFGの体積は、 $\frac{1}{3}\times\left(\frac{1}{2}\times 8\times 4\right)\times 9=48(\text{cm}^3)$   
 ②  $LJ//AE$ より、 $GJ:JE=GI:IA=1:2$  だから、 $\triangle EFJ=\frac{2}{1+2}$   $\triangle EFG=\frac{2}{3}\times\frac{1}{2}\times 8\times 4=\frac{32}{3}(\text{cm}^2)$   
 ③ 三角錐I-JFGの底面を $\triangle FGJ$ とすると、 $LJ//AE$ ,  $AE\perp$ 面EFGH だから、 $LJ\perp\triangle FGJ$   $\triangle FGJ=\frac{1}{3}\times\frac{1}{2}\times 8\times 4=\frac{16}{3}(\text{cm}^2)$   
 $IJ:AE=1:3$   $IJ:9=1:3$   $3IJ=9$   $IJ=3(\text{cm})$  三角錐I-JFGの体積は、 $\frac{1}{3}\times\triangle FGJ\times IJ=\frac{1}{3}\times\frac{16}{3}\times 3=\frac{16}{3}(\text{cm}^3)$   
 直方体ABCD-EFGHの体積は、 $8\times 4\times 9=288(\text{cm}^3)$  だから、 $\frac{16}{3}\div 288=\frac{1}{54}$ (倍)

4

- 【正解】 ①(1) 4 (2)  $(y=)\frac{5}{3}x+4$  (3) 17 ②  $(y=)\frac{30}{49}$

【解説】

- ①(1) (変化の割合) $=\frac{(y\text{の増加量})}{(x\text{の増加量})}=\frac{3^2-1^2}{3-1}=\frac{8}{2}=4$   
 (2) 2点B, Cのy座標は等しいから、点Bは、点Cをy軸を対称の軸として対称移動した点である。よって、点Bのx座標は-6で  
 あり、y座標は、 $y=-\frac{1}{6}\times(-6)^2=-6$ である。点Aのy座標は、 $y=3^2=9$ だから、直線ABの傾きは、 $\frac{9-(-6)}{3-(-6)}=\frac{15}{9}=\frac{5}{3}$ となる。  
 直線ABの式を、 $y=\frac{5}{3}x+b$ と表す。この式に、 $x=3$ ,  $y=9$ を代入して、 $9=\frac{5}{3}\times 3+b$   $b=4$  よって、 $y=\frac{5}{3}x+4$   
 (3) (2)より、Dのy座標は4である。直線ABの式に $y=0$ を代入して、 $0=\frac{5}{3}x+4$   $x=-\frac{12}{5}$  よって、点Eの座標は $(-\frac{12}{5}, 0)$   
 (四角形DEFGの面積) $=\triangle DEF+\triangle FGD=\frac{1}{2}\times\{4-(-6)\}\times\frac{12}{5}+\frac{1}{2}\times\{4-(-6)\}\times 1=12+5=17$   
 ② 点Aのx座標は正なので、 $\triangle ABC$ が直角二等辺三角形となるのは、 $\angle C=90^\circ$ ,  $AC=BC$ のときである。点Aのx座標をtとする。  
 3点A, B, Cの座標は、それぞれ、 $A(t, t^2)$ ,  $B(-t, -\frac{2}{5}t^2)$ ,  $C(t, -\frac{2}{5}t^2)$ となる。  
 $AC=t^2-(-\frac{2}{5}t^2)=\frac{7}{5}t^2$   $BC=t-(-t)=2t$   $AC=BC$ より、 $\frac{7}{5}t^2=2t$  整理して、 $7t^2-10t=0$ ,  $t(7t-10)=0$ ,  $t=0$ ,  $\frac{10}{7}$   
 $t>0$ より、 $t=\frac{10}{7}$   $A(\frac{10}{7}, \frac{100}{49})$ ,  $B(-\frac{10}{7}, -\frac{40}{49})$ より、直線ABの傾きは、 $\left\{\frac{100}{49}-\left(-\frac{40}{49}\right)\right\}\div\left\{\frac{10}{7}-\left(-\frac{10}{7}\right)\right\}=\frac{140}{49}\div\frac{20}{7}$   
 $=\frac{140}{49}\times\frac{7}{20}=1$   $y=x+c$ に、 $x=\frac{10}{7}$ ,  $y=\frac{100}{49}$ を代入すると、 $\frac{100}{49}=\frac{10}{7}+c$ ,  $c=\frac{30}{49}$  よって、 $y=\frac{30}{49}$

5

- 【正解】 ①(ア) (3) (イ) (10) (ウ) (6) (エ) (14)

- ②(1)(オ)  $\frac{9}{4}$  (カ)  $\frac{3}{2}$  (2)(キ) 4 (ク) 3 (ケ)  $\frac{12}{7}$

【解説】

- ②(1)(オ)  $AF=AC-FC=6-\frac{3}{2}=\frac{9}{2}(\text{cm})$   $\triangle ABF\sim\triangle BCE$ より、 $AB:BC=AF:BE$   $6:3=\frac{9}{2}:BE$   $6BE=\frac{27}{2}$   $BE=\frac{9}{4}(\text{cm})$   
 (カ)  $\triangle ABC\sim\triangle DEC$ より、 $AC:DC=CB:CE$   $6:3=3:CE$   $6CE=9$   $CE=\frac{3}{2}(\text{cm})$   
 (2)(キ)(ク)  $\triangle ABC$ と $\triangle BFC$ で、 $\angle BAC=\angle BDC=\angle FBC$ ,  $\angle ACB=\angle BCF$ より、2組の角がそれぞれ等しいから、 $\triangle ABC\sim\triangle BFC$   
 よって、 $\triangle BFC$ は二等辺三角形だから、 $BF=BC=3\text{cm}$   
 また、 $\triangle BFA\sim\triangle CFD$ より、 $BF:CF=FA:FD$   $3:\frac{3}{2}=9:FD$   $3FD=\frac{27}{4}$   $FD=\frac{9}{4}(\text{cm})$   
 よって、 $BF:FD=3:\frac{9}{4}=4:3$   
 (ケ)  $AF:FC=\frac{9}{2}:\frac{3}{2}=3:1$ より、 $\triangle ABF=3\triangle BCF$ であり、 $BF:BD=4:(4+3)=4:7$ より、 $\triangle BCF=\frac{4}{7}\triangle BCD$ であるから、  
 $\triangle ABF=3\times\frac{4}{7}\triangle BCD=\frac{12}{7}\triangle BCD$